

神戸市会議員 (須磨区) せい い ち

むらの誠一



「人は人の為に尽すを以って本分とすべし」

曾祖父 村野山人 (神戸村野工業高等学校創立者)
の遺志を継ぎ政治家を志す

所属政党 自由民主党

所属会派 自由民主党神戸市会議員団

所属委員会 総務財政委員会(委員長)

外郭団体に関する特別委員会(理事)

経歴

- ・昭和49年2月2日 神戸市須磨区に生れる
- ・須磨浦小学校 卒業
- ・神戸市立高倉中学校 卒業
- ・とび職として働きながら、大学入学資格検定取得
- ・芦屋大学(教育学部) 卒業
- ・兵庫県議会議員 故 伊田 宏 秘書
- ・衆議院議員 砂田圭佑 秘書
- ・平成19年 神戸市会議員選挙 当選(2期目)
- ・神戸南ライオンズクラブ 前会長
- ・神戸鹿児島県人会連合会 顧問
- ・近畿鹿児島県人会連合会 顧問

山麓線(さくら道)の歩道が新しく整備されます。

現 存	54本	内37本現状維持
● 樹木診断より撤去	11本	若木植樹
● 歩道乗入部の為撤去	3本	若木植樹
● 駐車場及び玄関前の為撤去	3本	若木植樹
● 植樹マスのみ(街路樹無し)	7本	若木植樹
● 過去に植樹あり(台帳より確認)	13本	若木植樹
現状54本 - 撤去17本 + 若木植樹36本 = 工事後73本		

※⑭は若木植樹出来ない。



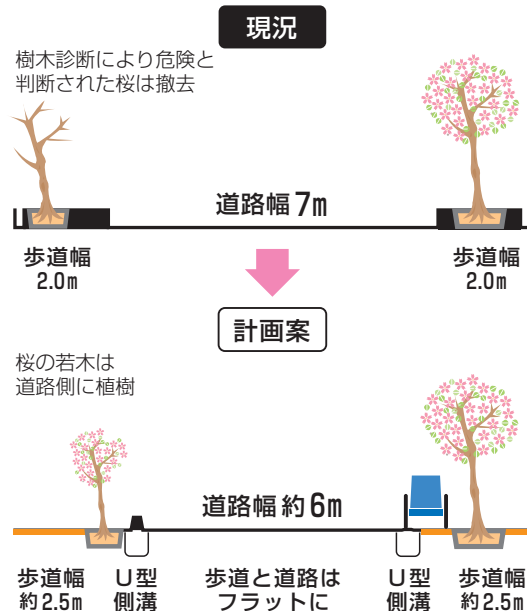
地元の皆様からご要望をいただいております、山麓線(さくら道)の歩道整備について、整備計画がまとまりましたので、ご報告いたします。山麓線(さくら道)を安全に歩いて頂く為の歩道整備と、山麓線(さくら道)のシンボルである桜の木を残すという2つのご要望を踏まえ検討しております。工事につきましては、今年の10月からを予定しており、ご協力のほど宜しくお願い致します。

歩道整備について

- (1) 歩道は、北側・南側の両側とも現在の2.0mから約50cm拡幅し、約2.5mとなります。
- (2) 歩道は、フラットとし、車道との高さの差をなくします。ただし、歩道と車道の間には縁石を設けて、歩道に自動車が入れないようにします。玄関口、車庫等の乗り入れ部分は、フラットになります。
- (3) 健全な桜の木をなるべく多く残すために、歩道の真ん中に健全な桜の木がある場所で車いすの走行に必要な歩道幅である1.0mを確保できない部分については、その部分だけ歩道と車道の縁石をなくして、車道の一部を使うことにより、連続的に歩道を利用しやすいようにします。

街路樹(桜の木)について

- (1) 現在ある健全な桜の木を出来る限り多く残します。
- (2) 樹木診断で危険と判断されたもの、交差点の点字ブロックや駐車場・玄関の出入りに支障となっている桜の木は、撤去します。
- (3) (2)で撤去した桜の木と、現在植樹マスのみになっている所は、付近の移動可能な場所に出来る限り桜の若木を植えます。



総務財政委員会行政調査



(宮崎市)

宮崎市) 九州一の景観都市づくりについて

宮崎市では、国際観光リゾート都市に相応しい緑豊かな景観を形成するために、平成16年度から「九州一の景観都市づくり」に取り組んでいる。屋外広告物の規制・指導と花・緑化の推進が大きな柱であるが、市民・中学生を対象とした景観教室等の実施や市民ボランティアによる道路上の違法広告物の除去など、市民をあげての様々な取り組みが特徴的である。また、平成18年に改正した景観条例では、周辺景観と著しく不調和な色彩の大規模建築物の出現を抑えるために、変更命令や罰則規定を盛り込んだほか、色彩デザインの考え方等を紹介した、ガイドラインを作成するなど事業者への協力を強く要請するものとなっている。

一方、屋外広告物の設置については、申請を行っていない事業者が約6割にも上るため、不公平が生じないように実態調査を進めているとのことである。地区によっては規制緩和の必要性が検討されるなど、主観的な美観感覚に客観的な基準で規制を加えるという景観行政の難しさを伺い知ることができた。

神戸市においても「デザイン都市神戸」の一環として都心ウォーターフロントのランドデザインを検討しているが企画調整局が横断的な調整役となって景観の規制と創出を総合的に進めることが特に重要と考えられる。

霧島市) 環霧島会議について

環霧島会議は、霧島山を中心とする7つの自治体が、それぞれの行政区域を越えて様々な共通施策・事業について連携・協議し地域全体の活性化をめざす広域協議会である。構成団体は鹿児島宮崎両県の5市2町であり、平成19年に霧島市が各自治体に呼び掛けて発足したものである。

関西では、地方分権の推進と効率的な行政運営の観点から府県レベルで関西広域連合の設立が進められているが、自然地形をキーとして周辺自治体が連携を図る「環霧島会議」は、広域行政の新しい形として大いに参考となった。



(霧島市)



(鹿児島市)

鹿児島市) にこにこ子育て応援隊について

鹿児島市では、子育て支援は行政の力だけでは困難であり一方で地域の問題を地域で解決するための地域力アップが期待されていることから、平成19年度に市民活動団体や地元事業者との協働で取り組む「にこにこ子育て応援隊」を結成している。

神戸市では、地域住民への子育て支援は各区の地域子育て支援センター(保健福祉局)で行い、事業者への啓発等は(市民参画推進局)が実施しているため、鹿児島市の例をそのまま当てはめることは難しいが、子育てという切り口による一元的な施策は市民にもわかりやすく、地域が一丸となって取り組める利点があると思われる。

(行政調査報告書・委員長所見要約抜粋)

超党派若手議員で政務調査



事業仕分けについて、奈良市長と意見交換

内閣府に設置された機関である行政刷新会議の加藤秀樹事務局長が代表を務める政策シンクタンク「構想日本」のメンバーや市民ら18人により、2009年11月に奈良市は事業の必要性などを見直す「事業仕分け」を初めて実施しました。仕分け対象となった60事業63項目のうち7事業を廃止、残りの事業も体制見直しやコスト削減を推進。計5億6000万円を削減すると発表。現在34歳、仲川げん市長は「来年度も実施する」としている。

お手伝いさせていただきました

私の母校、高倉中学校の周辺が明るくなりました。



いつでも気軽にご相談ください。

TEL (078) 739-8889

<http://www.murano.gr.jp>

自由民主党神戸市会議員団 須磨区第2支部

神戸市会議員 むらの誠一事務所

〒654-0053 神戸市須磨区天神町3丁目2-45

FAX (078) 739-8887